



あかまつ

令和4年度

第10号

令和4年5月19日

《学校教育目標》 夢に向かって 本気で チャレンジ! 笑顔の花さく 南っ子

太田分校との連携学習～野菜作りの達人が来校～5月16日(月)

コロナ禍の県立学校との連携学習は県の方針もあってなかなか難しかったのですが、やっとコロナ前の形に戻りつつあることを感じています。

今年度は1年生のアサガオの種まきと2年生のミニトマトの苗植えに、太田分校からお二人の先生とお二人の生徒さん(高校3年生)に来ていただくことができました。分校の先生からは、「いっぱい質問して、このお兄さんたちを困らせてください。勉強になるので。」というお話がありました。その言葉通り、「土は



これくらいいいの?」「もう植えていいの?」

というようにたくさん話しかけていた子どもたちでした。

ミニトマトの苗は、「アイコ」という品種でした。「人の名前みたい」と言いながら楽しんで植えている2年生の姿や、「土をもっと入れていいよ」というアドバイスに「はい」と答えながら、よく話を聞いている1年生の姿がありました。

小学生にとって、高校の先生から直接教えていただいたり、高校生とふれ合ったりする機会はとても貴重で、必ず子どもの心に強く残るものと思っています。

栽培がうまくいかないとき、「なぜ?」を聞くことができる方が近くにいることは心強い限りですし、そんな連携を今後も深めていけたらと思っています。



学校教育アドバイザー来校 5月18日(水)

学校教育アドバイザーの先生が来校し、全学級の授業を参観していただきました。どの学級も学習に真剣に取り組んでいる様子を見ていただくことができました。授業にICTを活用することや協働学習を取り入れた確かな学びの推進についてもアドバイスいただきました。私たち小学校の先生に求められていることはGIGAスクール構想による一人一台端末以外にも多くありますが、この後も子どもたちの発達段階にあわせて授業改善を重ねていきたいと誓いを新たにしましたところ です。



今年度1回目の避難訓練（地震想定）を行う

今週17日（火）、地震を想定して1回目の避難訓練を実施しました。

昨年の5月の避難訓練の際の計測では避難にかかった時間は2分50秒、今回は3分17秒でした。落ち着いて行動できていましたが、遅くなった分の27秒の間にもしものことがあってはなりません。「おかしもち」の約束を守りつつも、担任の指示に従って素早く行動する力も大事にしたいと考えますので、2回目はその部分がんばろうという話をしました。



- 3. 11…東日本大震災（午後 2時46分）
- 5. 26…日本海中部地震（午前11時59分）
- 1. 17…阪神淡路大震災（午前 5時46分）

この数字を見せたときに、東日本大震災は多くの子どもたちが知っているだろうとは思っていましたが、阪神淡路大震災を言えた子がいたことにびっくりしました。豊富な知識をもっていることに感心しました。

さて、地震はいつ起こるか分かりません。1年は365日、1日は24時間ですが、割合で考えると、学校にいる時間よりも家にいる時間の方が多いのだそうです。いざというときのために家の中の「3ないエリア」はどこかなということを考えてくださいねと話しました。「3ないエリア」とは、



- 「落ちてこない」
- 「倒れてこない」
- 「移動してこない」 場所

のことで。日頃からそなえを大切にしたいものです。

各種検診スタート

今年度も歯科検診を皮切りに各種検診がスタートします。現在は視力検査を行っているところで、この後、心電図検診、眼科検診、内科検診と、この1か月の間に次々実施の予定です。昨年同様に、感染症のリスクを回避するため、受診内容ややり方が制限されているようですが、子どもたちが自分の体を知り、早め早めに治療していくことはとても大切です。学校から治療のすすめが届きましたら、どうかよろしく願いいたします。

